公益社団法人岐阜県建築士会 まちづくり委員会

第1回定例会議 議事録

日時：2020年9月8日(火)14:00～16:30

場所：ふれあい会館 405

議事録作成者：桂川、補正加藤

出席者（11名）：石黒副会長、加藤委員長、
入山副委員長、今井副委員長、櫻井副委員長、桂川副委員長
福田勝好、高野栄子、田中佐企、大塚則幸
村瀬賢一(オブザーバー)

あいさつ 石黒副会長

【議題1】

役割分担の説明（令和2年6月29日委員長会議にて）

担当副会長：石黒時紀

① 景観まちづくり部会長：委員長 加藤達雄

- ・本年1月末日、東京にて全国まちづくり委員会が開催されました。そのときの東京都の発表者からの希望提案を聞きました。東京近辺で大災害が発生した時東京に住めない状態になる。十数人で半年程度の移住先を確保したいとのことでした。愛知県に伊勢湾台風級が勃発した場合十万人規模の避難者が出ます。近隣である自治体において空家を活用する可能性があると考えます。空家一戸当たり5人とし一自治体で100戸確保し20の自治体が協力すれば1万人の収容できる避難場所となります。自治体同士の連携協定が必要です。建築士会が関われば良いと考えます。

② 防災まちづくり部会長：副委員長 今井通陽

- ・ネットワークを作っていく方向になっているが、岐阜県はまだ何もない。
- ・相談窓口の設置
- ・公共仮設など方策を幾つか検討中です

③ 歴史まちづくり部会長：委員長 福田勝好

- ・地域の文化財を見直す
- ・古い建物を修復ができる建築士を要請されている
日本建築士会は文化庁の意向を踏まえ歴史建造物の保存修復を行える人材づくりを進めています
- ・ヘリテージマネージャー等も活用する方針です

④ 街中（空き家）まちづくり部会長：副委員長 入山要

- ・岐阜県内各自治体において空家協議会があり委員を推薦し活動中です
- ・実例を元に活用研究を進めていきます

⑤ 福祉まちづくり部会長：副委員長 桂川麻里

- ・相談業務は継続だが、今年度はまだない状態です
- ・もとす広域連合会との協定を委員会として進めて頂きたい

⑥ 木のまちづくり部会長：村瀬賢一

- ・今年度から連合会指導のもと新部会が立ち上げられました

- ・木造というものの見直しを全国的に行っていくのではない
現時点白紙の状態です
- ⑦自治体連携推進：副委員長 櫻井宮雄
 - ・各まちづくり委員会の方向性等をHP等も活用して実績紹介していく
 - ・各部会との連携協力が必要と考えます
- ⑧総務・情報管理と記録：副委員長 永田徹雄
 - ・各部会から毎月1回月末に活動内容と次の計画を報告を受け記録します
 - まちづくり委員会の活動がいつでも公開できるシステムとなります

【議題2】

本年度事業の確認 担当副委員長より報告(前年度事業引継含む)

- ①景観まちづくり
- ② 防災まちづくり
 - ・東海北陸ブロックで歴史的建造物のデータベースをまとめていく予定でしたが足踏み状態です。これもコロナの影響です
 - ・岐阜県として建築士会というより他の協会に要請がいつている
 - ・九州の方では応急危険度判定だけではなく、罹災証明の発行も建築士会が出している
 - ・徳島でマニュアルを作成しているのでそれを他の県も活用している
- ③歴史まちづくり
 - ・応急危険度判定との連携及び防災まちづくりとの連携も必要
 - ・ヘリテージマネジャーの要請が岐阜県でも必要ではないか
 - ・岐阜県は「みのひだ文化財育成講座」を行ないヘリテージマネジャーという名前ではなく、また連続60時間内容は行っていない
 - ・みのひだ文化財育成講座の修了者は全部で23名、建築士会では20名
 - ・岐阜県だけではカリキュラムを組むのは難しいため愛知県にも協力をお願いしていくしかない
 - ・岐阜県でヘリテージマネジャーを認定していくなら全国区で共通するような内容とする必要があるのではないか
- ④街中（空き家）
 - ・垂井町空き家対策審議会との協定
→高野さんが建築士会として参加
- ⑤福祉まちづくり
 - ・全国のモデルとなれるように活動していく
 - ・高齢者・障害者の事例集作成
 - ・相談依頼の内容の事例集作成
 - ・もとす広域連合会との協定
- ⑥木のまちづくり
 - ・部会員の選出はどうするのか
→自由に集める
 - ・部会の予算はあるのか
→今年度急に予算は出ない
→活動時の交通費等が出る
 - ・活動の内容はどうするのか

[議題3]

自治体連携事業紹介

別途資料

自治体連携事業の未消化

- ①もとす広域連合会との協定
会長と委員長さんに再度もとす広域連合との話をして頂く
- ②垂井町空き家対策審議会との協定
高野さんが建築士会として参加

【議題4】

その他

- ・部会を行なった後はHPにあげる
- ・士会のHPには委員会サイト、支部サイトしかないが、部会の数が増えてきたので活動内容を書き込むにも煩雑になるので、部会のサイトも欲しい
- ・本部ではZOOMでWEB会議を行う予定(有料)なので今後、まちづくり委員会もWEB会議を検討していく